

京都SDGsパートナー更新登録証



認定NPO法人
セカンドハーベスト京都は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

私たち『セカンドハーベスト京都』は、安全に食べられるにも関わらず今まで廃棄されていたであろう食品を集め、支援を必要とする人々を支える団体等に提供する活動を通して、京都における食品ロス削減とフードセーフティネットを両立させる社会インフラの一つとなることを目指しています。

●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】週4日、20時間勤務を標準とし、ワーク・ライフ・バランス及び健康経営を推進している。

【社会】こども食堂やコミュニティー食堂、居場所などに食品支援を実施している。フードパントリーを京都市内3箇所で開催し、生活にお困りの方々に食の面で支えている。

【環境】フードドライブの実施状況をHPやSNS、プレスリリースなどで広報することで普及促進を行うとともに、実施支援を行っている。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

コロナ禍で生活に困窮される方が急増し首都圏では、食品の個人への直接配布（フードパントリー）にリーマンショック時以上に長い列ができていた。京都でも同様の方々に支援するため、フードパントリーを実施するようにした。現在は生活にお困りの方々全般を対象に、府内5箇所（京都市内3箇所）で毎月1回実施している。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00009

更新日 2024年6月30日

認定NPO法人
セカンドハーベスト京都



京都超SDGs
コンソーシアム



京都市
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の一つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

